

誰も教えてくれない経済学

- A 現在の金融不安、世界経済不況はただちに回復できる。
- B えっ、嘘だろう。本当なら皆が喜ぶ。信じられないが…
- A 本当だ。実は簡単な事なんだ。
- B それはどうすれば良いのだ？
- A いま、全世界の経済学者が言っている、間違った経済学3点セットを止めるのだ。
- B 経済学者が経済の事を間違うはずはないじゃないか。
- A 彼等は大学で経済学を学び、それが正しいと信じ込んでいるだけだ。
- B その3点セットとはなんだ？
- A 1. 金融機関は自己資本比率を高めないといけない（最低8%）
2. 時価評価をしないといけない
3. 格付けをしなければいけない
の3点セットがもっとも最悪だ。
- B わからないなあ。全部大変必要な事ではないか。
- A いや、けしてやってはいけない悪い事だ。それをやらねばならないと信じるから、いまの不況が起こったのだ。
- B 良い事のように思えるのだが…
- A じゃ、説明してあげる。金融機関は100億預金が集まると100億以上貸付する事も可能なんだ。それは貸した人、すなわち借りた人が全てすぐ金を引き出す訳ではないからだ。だから預金者に5%利息を払って貸付6%~7%でも利益を上げる事が出来るし、世の中の経済効果も上がり、景気も良くなる。預金者も利息が入り喜ぶ。いまは自己資本比率を気にして、預金が100億あっても、70億ぐらい貸すのが精いっぱいだ。そうすると銀行には、常に要る金はせいぜい20億程度だから、80億はお金が有り余る事になる。すなわち80%が死に金になる。その有り余る金をどうするか。株か証券を買うしかない。（本当は、そのお金を必要とする実業に回せば世の中は良くなるのだが。）株、証券、サブプライムローンに金が行く。全ての銀行が買うから、その株や証券は暴騰する。上がっているその時、時価評価すると、全く銀行業務をしなくても何百億と儲かった事になってしまう。銀行や証券会社経営者は、超高給を食う。それでも儲かっているの

だから当然だとなる。しかし、いったん価格が下がりだすと、下がる株や証券をほしがる人はいない。すなわち買い手がないから売るに売れない。損切り出来ないのだ。銀行は自分が苦しいから、他の銀行の苦しい実態もわかる。すなわち銀行同士が信用出来なくなってしまうのだ。

B 銀行同士が信用出来ないと経済はマヒしてしまうではないか。

A その通りだ。

B でも 10 億で買った株の時価が 5 億になっていけば時価に直さないといけないのではないか？

A いや違う。その株の本当の価値とは、その株を実際に売買が行われて初めて確定するのだ、たとえば 5 億の時価の株を全部売ろうとすると、1 億でも、5 千万でも売れないかもしれないだろう。だから意味がない。もっとわかりやすい例で時価評価はしてはいけない事を説明しよう。いま 1 株 1 円で 1 億円の資本金の会社を設立する。その株式のほとんどを仲間で持合いする。仲間で売ったり買ったりしながら、1 株を 1 億円で売買する。1 株でも売買があれば時価になる。全株式が売買されなくても良い。その会社を時価評価するとどうなる？

B えーと、まさか 1 兆、いや 1 京だ。

A その通りだ。1 京の会社など世界中にもないが、簡単に出来てしまう。小学生の算数だが、こんな事を金融工学だと囃している人がいる。時価評価は、絶対してはいけない事が良くわかっただろう。

B 格付けはどうしていけないのか？

A 君には行きつけのスナックがあったね。あそこのママは美人だし、やさしいし、店の雰囲気も良いが、もし来月から君の格付けは BB だから 2 倍払ってください。あの人は CC だから 3 倍払ってもらいます。向こうの人は AAA だから半値ですと言われたら、君は納得するか？君はいままで 1 度もつけを支払わなかった事はないと言うだろう。ママは、「貴方は 5 万円の洋服、あの人は 1 万円、向こうの人は 100 万円の洋服で車はベンツ、貴方の車はカローラ…当然の格付けです。」

B そんな事を言われたら、もうそこには行きたくない。

A 銀行はそうしなければいけない事になっていて、普通にそう言ってるよ。

B 格付けしないと投資家が困るのではないか？

A いいや、投資は格付けに頼ってやるもんじゃあない。君はじつに美味しいラーメンを作るよね。あんな美味しいラーメンを僕は食べた事がない。もし君がラーメン屋をやりたいが資金がないと言ったら、僕は喜んで投資する。格付けは関係な

い。すなわち、その経営者の人物か、その会社のつくっている物や、その会社の社風にほれ込んで投資するのだ。格付けなどするべきではない。

B だいぶわかって来たが、自己資本は全く必要ないのか？

A 全くないね。君の奥さんに聞いてごらん。美容院に行くのに、どこに行っているか。「私の行きつけの所は、私の好みをよく知っていて、私をきれいにしてくれるのよ。マッサージも上手だし、お話ししていて楽しいし、癒されるの。」病気になったらどこの病院に行く？「私の行く病院は、見立てが良くて、すぐ病気を治してくれるわよ。」ブティックはどうだ？「センスの良いファッションがそろっているあの店よ」と言うだろう。決して自己資本比率の高い美容院や病院、ブティックは選んでいない。経済学者や金融庁の奥さんでも、誰一人自己資本比率で選んでいない。

B では、いまのような事をしていると、なかなか経済は良くなるのはわかった。では、どうすれば良いのだ？

A ラーメン屋には美味しいラーメンを作らせ、病院には病気を治させ、農家には米や野菜を作らせ、と同じように金融機関に本来の仕事をさせれば良いのだ。

B 本来の仕事とはどういう事だ？

A 金融機関の本来の仕事とは、マネーゲームで利益を上げるのが目的ではない。不況になれば景気を良くする事だ。加熱しすぎの時は、儲けを削ってもひきしめなければいけないのだ。公機関として、まじめに仕事している、未来の世の中のために働いている人にお金を回すのだ。病院が病人のためにあるように、本当に必要な所にお金を回すのだ。格付けで良い会社は、お金は十分にある。そんなところにさらに競争して貸そうとするから金融機関も儲からない。しかもファンドの餌食になる。

B ファンドの餌食とはどういう事だ？

A 総てのファンドでは無いが、悪質なファンドは詐欺まがいの事を平気でする。たとえばファンドは儲かると言わないとお金が集まらないから。良く儲かっている実績があります。今後、絶対儲かるとは言えませんが、確率が高い、と言う。例えば君が 100 万円ファンドに預けたとしよう。1 年後、利益が上がりましてと言って 10 万円利益を持ってくる。君は大喜びで 1,000 万円をまた預ける。次に 1 年後、100 万円儲かりましてと言ってくる。今度は他人から借金して 1 億を預ける。何年かするとテレビ宣伝などをしだす。君は大喜びだ。しかし、ファンドは 1 兆円の目標金額が集まれば、今回は初めての大損ですと言う。

B なになに、どういう事だ？

A 実は、君の最初の 100 万円は、ファンドは預かり金とは思っていない。心の中では利益である。1 年後の 10 万円は経費だ。2 年目の 1,000 万円も利益で、3 年目は 100 万円が経費、すなわちエサ代だ。1 兆円の魚を釣るエサ代と宣伝費・人件費に 2,000 億ぐらい見込めば、後は純利益だ。実質詐欺だが立証がしにくいのだ。

B 銀行がその餌食になっているのか？

A サブプライムローンも基本は同じ手口だし、ファンドは常に利益率は高いし、キャッシュフローも高い。AAA の格付けがつけられる。だから銀行もこぞってファンドに手をだすのだ。そう、ここにも格付けの弊害が出ている。何も創造せずマネーゲームで利益を上げているだけの会社に AAA の格付けが付けられている。そもそも、格付け会社は何の責任も取ら無いではないか！その格付けに振り回されること自体がおかしくは無いかい？

B では自己資本比率が高い所は良くないのか？

A いやそうではない。地道に企業努力をし、お客様の信頼を勝ち取り、その結果利益が上がったり、自己資本がだんだん増えてたりするのは当然の事だ。良い事である。ただ、その数字で企業を格付けして、投資しないとか、融資しないのでは世の中は良くなるしないのである。

この経済学は不景気をなくすだけでなく、世の中から極端な貧困をなくし、努力する人が報われる、すばらしい社会をつくる経済学です。

この経済学を読んでご賛同いただけた方は、最低 2 人以上、できるだけ多くのお知り合いにメールまたはファクスで広めてください。

この経済学がこうして多くの人に読みまわされ、広まっていけば、貧困がなくなって豊かな社会が生まれ、真面目に頑張っている企業が不況で倒産する事もなくなります。

ご希望の方には、さらに詳しい『人間を幸せにする経済学』をお送りします。

安田金属工業株式会社

〒542-0081

大阪府中央区南船場 1-11-9 長堀安田ビル 7F

Tel. 06 (6262) 0692 (代) Fax. 06 (6262) 0697

info@yasudametal.com